



令和8年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

令和7年8月4日

上場会社名 SRSホールディングス株式会社

上場取引所 東

コード番号 8163 URL <https://srs-holdings.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役執行役員社長 (氏名) 重里 政彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経営戦略本部長 (氏名) 池田 訓 TEL 06-7222-3101

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 令和8年3月期第1四半期の連結業績（令和7年4月1日～令和7年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
8年3月期第1四半期	17,874	18.6	577	△7.0	558	△2.3	275	△16.9
7年3月期第1四半期	15,071	8.5	621	319.5	572	296.2	331	74.6

(注) 包括利益 8年3月期第1四半期 256百万円 (△40.8%) 7年3月期第1四半期 434百万円 (37.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
8年3月期第1四半期	6.66	5.99
7年3月期第1四半期	8.02	7.79

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
8年3月期第1四半期	43,876	16,967	37.4
7年3月期	45,944	17,021	35.9

(参考) 自己資本 8年3月期第1四半期 16,417百万円 7年3月期 16,494百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
7年3月期	—	0.00	—	7.50	7.50
8年3月期	—	—	—	—	—
8年3月期（予想）	—	0.00	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 令和8年3月期の連結業績予想（令和7年4月1日～令和8年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	76,000	12.6	3,000	12.0	2,800	10.3	1,600	72.8

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	8年3月期1Q	41,470,184株	7年3月期	41,470,184株
② 期末自己株式数	8年3月期1Q	119,008株	7年3月期	119,043株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	8年3月期1Q	41,351,168株	7年3月期1Q	41,351,141株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

(単位：百万円)

	令和7年3月期第1四半期			令和8年3月期第1四半期		
	実績	対前年同期 増減額	対前年同期 増減率	実績	対前年同期 増減額	対前年同期 増減率
売上高	15,071	1,186	8.5%	17,874	2,802	18.6%
営業利益	621	473	319.5%	577	△43	△7.0%
経常利益	572	427	296.2%	558	△13	△2.3%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	331	141	74.6%	275	△56	△16.9%

当第1四半期連結累計期間における外食業界は、売上面では所得・雇用環境の改善や大阪・関西万博の開催効果も含むインバウンド需要の拡大、メニュー価格の改定による客単価の上昇などにより、増加傾向となりましたが、米価格をはじめとした仕入価格の高止まりや物流費、人件費の上昇によるコストプッシュ、地政学的リスクの高まり、アメリカの政策動向による為替や景気への影響などにより、依然として厳しい環境が継続しております。

同期間の当社グループの業績につきましては、前述の外食業界のトレンドのプラス影響に加え、前連結会計年度に実施したM&Aによる増収効果や新規開店の寄与などもあり、売上高は前年実績を上回ったものの、利益面では急激な原材料価格の高騰による原価率の上昇や、今後の出店を見据えた人材確保・教育の強化による人件費の上昇などにより、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年実績に対して減益となりました。

このような状況下、当社グループは、持続的な企業価値向上を目指して令和8年3月期を初年度とした5カ年の新中期経営計画「SRS VISION 2030」を令和7年5月9日に発表しました。新中期経営計画では「既存事業の飛躍的な発展と新たな収益基盤の確立による和食チェーングループ圧倒的No. 1の実現」を基本方針とし、「“和食さと”のナショナルブランド化」、「“にぎり長次郎”“うまい鰯勘”でグルメ寿司チェーン圧倒的No. 1の実現」、「第3、第4の収益の柱となる事業の確立」、「売上高1,000億円超を支えるグループ機能の強化とサステナブル経営の推進」の4つの重点戦略を推進し、上記の経営環境への対応と、さらなる収益性向上および規模拡大を目指します。主要な業態ごとの具体的な取り組みや概況については、次の通りです。

(和食さと)

和食さと業態では、新中期経営計画の重点戦略の1つである「“和食さと”のナショナルブランド化」の第一歩として、今後新商勢圏化を目指す中国地方の岡山県に「和食さと 倉敷東富井店」を出店したほか、「団らん」を体现するブランド進化施策として、3店舗での配膳ロボットの複数台導入実験の開始や、「離乳食」の無料提供サービスを全店で開始しました。また、マーケティング施策として、さとしゃぶやさと式焼肉などの食べ放題コースにおいて、「本鮪食べ放題特別コース」などの高付加価値商品の販売、タレントの渋谷風咲さんを起用したTVCMやSNS配信、WEB広告や新聞折込チラシなどの様々な媒体を組み合わせたプロモーションを実施しました。同期間の出退店および改装実績としては、1店舗を開店、3店舗を改装しました。当第1四半期連結会計期間末の店舗数は199店舗です。以上の結果、売上高は6,772百万円（前年同期比103.3%）となりました。

(にぎり長次郎)

にぎり長次郎業態では、来店頻度の向上を目的とし、「にぎり長次郎アプリ」を用いて積極的な情報発信やお得なクーポンを配信したほか、更なる売上高の獲得を目的とし、「長次郎と巡る・初夏のひとさら」フェアを開催し、肉厚で脂がたっぷりで栄養豊富な「鹿児島県産うなぎ」や、淡泊な白身でほんのりと甘みがある「活黒めばる」、関西の夏の風物詩で脂のり良く濃厚な味わいの「はも」を販売するなど、様々なメニュー施策を実施しました。また、顧客満足度の向上を目的とし、「にぎり長次郎アプリ」を活用したリアルタイムでのモバイルオーダー受注を開始したほか、更なる生産性の向上を目的としたセルフレジの導入及び配膳ロボットの実験を継続しました。当第1四半期連結会計期間末の店舗数は72店舗です。以上の結果、売上高は3,535百万円（前年同期比107.3%）となりました。

(家族亭)

家族亭業態では、来店頻度の向上を目的として、「家族亭公式アプリ」を用いたクーポンの配信に加えて、6月よりLINE登録会員に向けて全店お得なクーポンを配信したほか、InstagramやX、TikTokなどのSNSツールを活用して、積極的な動画配信を実施しました。また、更なる売上高の獲得を目的として、4月から5月末にかけて産地応援フェア「北陸味わい紀行」を開催し、富山湾産白えびや北陸の野菜を使用した「北陸天ざるそば」や福井県産甘

えびを使用した「甘えび丼とお蕎麦のセット」を販売したほか、5月からは毎年人気の「真穴子」を使用した「真穴子天ざる」を販売しました。さらに、お客様の利便性向上に向けて、商品番号入力方式によるモバイルオーダーの運用を43店舗で開始しました。当第1四半期連結会計期間末の店舗数は59店舗です。以上の結果、売上高は1,383百万円（前年同期比116.2%）となりました。

（アミノ寿司業態）

うまい鮎勘業態では、更なる売上高の獲得を目的として、4月に「鱈」「真鯛」、5月に「いさき」「かんぱち」、6月に「スズキ」「ほや」など、旬の魚を味わえるフェア商品を月替わりで販売したほか、母の日や父の日などのイベントがある週末には特別メニューを販売しました。また、既存顧客の来店頻度向上を目的として、「うまい鮎勘公式アプリ」を用いてドリンク半額クーポンを配信したほか、店舗の生産性向上の取り組みとして、6月にロードサイド型店舗にロボット掃除機を導入しました。当第1四半期連結会計期間末のアミノ寿司業態の店舗数は32店舗です。以上の結果、売上高は1,618百万円となりました。

当社グループは、外食事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの経営成績に関する記載を省略しております。

〔当社グループ 業態別店舗数〕

業態名	前連結会計 年度末	出店実績	閉店実績	当第1四半期 連結会計 期間末	当連結 会計年度 出店計画
和食さと	198 (－)	1 (－)	－ (－)	199 (－)	5
にぎり長次郎・CHOJIRO	72 (－)	－ (－)	－ (－)	72 (－)	4
家族亭※	59 (7)	－ (－)	－ (－)	59 (7)	1
得得・とくとく	57 (45)	－ (－)	－ (－)	57 (45)	4
かつや	51 (17)	－ (－)	－ (－)	51 (17)	5
天井・天ぶら本舗 さん天	34 (1)	－ (－)	－ (－)	34 (1)	1
アミノ寿司業態※	32 (－)	－ (－)	－ (－)	32 (－)	2
定食屋 宮本むなし	24 (－)	－ (－)	－ (－)	24 (－)	0
宅配寿司業態	11 (3)	－ (－)	－ (－)	11 (3)	0
からやま	11 (－)	－ (－)	－ (－)	11 (－)	2
ひまわり	8 (－)	－ (－)	－ (－)	8 (－)	2
ビフテキ 牛ノ福・勝福惣店	7 (－)	－ (－)	－ (－)	7 (－)	3
M&S FC事業※	32 (1)	2 (－)	－ (－)	34 (1)	6
その他	12 (－)	－ (－)	－ (－)	12 (－)	1
鶏笑	148 (148)	4 (4)	6 (6)	146 (146)	31
国内合計	756 (222)	7 (4)	6 (6)	757 (220)	67
海外店舗	24 (23)	－ (－)	－ (－)	24 (23)	8
国内外合計	780 (245)	7 (4)	6 (6)	781 (243)	75

（ ）内はFC・のれん分け及び合併事業店舗数

※「家族亭」業態には「花旬庵」「三宝庵」「家族庵」「蕎麦」「蕎菜」業態を含んでおります。

※「アミノ寿司業態」には、「うまい鮎勘」「うまい鮎勘ゆとろぎ」「うまい鮎勘別館 鮎正」「銀座鮎正」「回転すし まるくに」「北海三陸炭火焼 まるかん」業態を含んでおります。

※「M&S FC事業」は、M&Sフードサービス株式会社が運営する「ボボラマーマ」「ミスタードーナツ」「ドトールコーヒー」「大釜屋」「しんばち食堂」業態の合計店舗数です。

（2）当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、43,876百万円（前連結会計年度末比2,067百万円の減少）となりました。

流動資産は、16,777百万円（前連結会計年度末比1,313百万円の減少）となりました。これは主に、現金及び預

金の減少1,081百万円、売掛金の減少384百万円、原材料及び貯蔵品の増加92百万円などがあります。

固定資産は、26,997百万円（前連結会計年度末比746百万円の減少）となりました。これは主に、繰延税金資産の減少637百万円、のれんの減少111百万円などがあります。

流動負債は、10,290百万円（前連結会計年度末比894百万円の減少）となりました。これは主に、賞与引当金の減少333百万円、買掛金の減少308百万円、未払法人税等の減少216百万円などがあります。

固定負債は、16,619百万円（前連結会計年度末比1,118百万円の減少）となりました。これは主に、繰延税金負債の減少563百万円、長期借入金の減少385百万円、社債の減少197百万円などがあります。

純資産は、16,967百万円（前連結会計年度末比53百万円の減少）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和8年3月期の連結業績予想につきましては、令和7年5月9日に公表いたしました決算短信に記載の連結業績予想から修正はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和7年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (令和7年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,567,643	11,486,363
売掛金	3,184,789	2,799,941
商品	59,140	63,255
原材料及び貯蔵品	1,384,438	1,477,018
1年内回収予定の長期貸付金	68,204	68,939
その他	826,898	884,194
貸倒引当金	△600	△2,665
流動資産合計	18,090,516	16,777,048
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	4,702,664	4,735,329
土地	3,329,650	3,398,526
その他（純額）	3,052,524	3,042,632
有形固定資産合計	11,084,839	11,176,487
無形固定資産		
のれん	5,318,844	5,207,264
商標権	2,590,680	2,541,982
その他	529,699	511,554
無形固定資産合計	8,439,224	8,260,801
投資その他の資産		
投資有価証券	1,188,514	1,170,636
長期貸付金	590,286	608,613
差入保証金	4,246,627	4,263,264
繰延税金資産	1,585,370	947,680
その他	612,212	575,624
貸倒引当金	△3,267	△6,025
投資その他の資産合計	8,219,745	7,559,794
固定資産合計	27,743,808	26,997,083
繰延資産	109,725	102,815
資産合計	45,944,050	43,876,947

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和7年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (令和7年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,142,550	1,834,210
1年内償還予定の社債	1,087,500	1,087,500
1年内返済予定の長期借入金	1,620,700	1,611,784
未払金	3,348,440	3,444,019
未払法人税等	402,213	186,074
賞与引当金	598,810	265,142
店舗閉鎖損失引当金	1,463	—
その他	1,982,789	1,861,518
流動負債合計	11,184,467	10,290,249
固定負債		
社債	8,511,250	8,313,750
長期借入金	5,441,328	5,055,352
再評価に係る繰延税金負債	85,305	85,305
繰延税金負債	695,664	131,731
役員退職慰労引当金	214,593	217,995
役員株式給付引当金	56,670	60,760
退職給付に係る負債	132,465	138,051
資産除去債務	1,435,986	1,441,672
その他	1,164,634	1,174,386
固定負債合計	17,737,898	16,619,005
負債合計	28,922,366	26,909,255
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,077,683	11,077,683
資本剰余金	4,481,953	4,481,953
利益剰余金	1,322,637	1,287,094
自己株式	△119,707	△119,672
株主資本合計	16,762,566	16,727,058
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	633,815	621,563
繰延ヘッジ損益	14,915	△14,060
土地再評価差額金	△926,256	△926,256
為替換算調整勘定	9,396	8,934
その他の包括利益累計額合計	△268,127	△309,818
新株予約権	3,986	3,986
非支配株主持分	523,259	546,465
純資産合計	17,021,684	16,967,691
負債純資産合計	45,944,050	43,876,947

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 令和6年4月1日 至 令和6年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和7年4月1日 至 令和7年6月30日)
売上高	15,071,866	17,874,130
売上原価	5,066,178	6,105,453
売上総利益	10,005,688	11,768,676
販売費及び一般管理費	9,384,453	11,190,802
営業利益	621,234	577,873
営業外収益		
受取利息	1,671	1,625
受取配当金	9,635	18,334
受取家賃	11,719	11,756
為替差益	1,419	—
雑収入	14,565	20,872
営業外収益合計	39,010	52,589
営業外費用		
支払利息	26,971	38,696
不動産賃貸費用	7,408	7,622
為替差損	—	986
雑損失	53,833	24,428
営業外費用合計	88,212	71,734
経常利益	572,032	558,728
特別損失		
固定資産除却損	2,650	3,976
賃貸借契約解約損	—	612
特別損失合計	2,650	4,589
税金等調整前四半期純利益	569,381	554,139
法人税、住民税及び事業税	145,090	162,985
法人税等調整額	73,389	92,466
法人税等合計	218,479	255,452
四半期純利益	350,902	298,686
非支配株主に帰属する四半期純利益	19,330	23,206
親会社株主に帰属する四半期純利益	331,571	275,480

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 令和6年4月1日 至 令和6年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和7年4月1日 至 令和7年6月30日)
四半期純利益	350,902	298,686
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	54,374	△12,251
繰延ヘッジ損益	30,073	△28,976
為替換算調整勘定	△1,059	△462
その他の包括利益合計	83,388	△41,691
四半期包括利益	434,290	256,995
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	414,960	233,789
非支配株主に係る四半期包括利益	19,330	23,206

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自 令和6年4月1日 至 令和6年6月30日）及び当第1四半期連結累計期間（自 令和7年4月1日 至 令和7年6月30日）

当社グループは、外食事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

I 前第1四半期連結累計期間（自 令和6年4月1日 至 令和6年6月30日）

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
令和6年5月21日 取締役会	普通株式	311,023	7.50	令和6年3月31日	令和6年6月28日	利益剰余金

(注) 令和6年5月21日取締役会の決議による配当金の総額には、役員株式給付信託の信託財産として株式会社日本カストディ銀行（信託口）が保有する当社株式に対する配当金890千円が含まれております。

2 株主資本の金額の著しい変動

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自 令和7年4月1日 至 令和7年6月30日）

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
令和7年5月20日 取締役会	普通株式	311,023	7.50	令和7年3月31日	令和7年6月27日	利益剰余金

(注) 令和7年5月20日取締役会の決議による配当金の総額には、役員株式給付信託の信託財産として株式会社日本カストディ銀行（信託口）が保有する当社株式に対する配当金890千円が含まれております。

2 株主資本の金額の著しい変動

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 令和6年4月1日 至 令和6年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和7年4月1日 至 令和7年6月30日)
減価償却費	399,933千円	501,065千円
のれんの償却額	35,007千円	111,580千円